

宮代地区まち協通信



南宮大社の“卯”

百連鳥居

撮影 福本 莞さん



「どうする?!家康」 宮代の自然と歴史・文化を愛する会

会長 廣岡 清隆

南宮大社百連鳥居

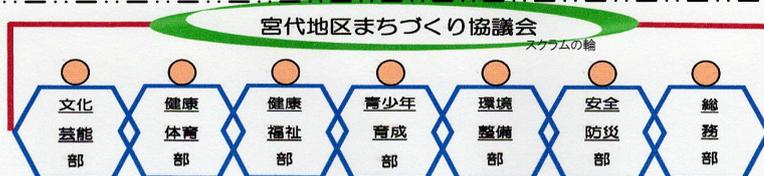
南宮大社の南西側にある南門を抜けると南宮稲荷神社へ向かう参道に百連鳥居があります。昨年末に改修工事も終わり、朱色の鳥居に雪の白が映えます。鳥居がある裏山は、神秘的な雰囲気醸し出し多くの神様が祀られています。一度足を運んでみて下さい。

目次

- どうする?!家康
- 行事予定 (2月度)
- 2022重大ニュース
- 活動報告 <12月・1月の活動>
- 青少年健全育成を「語る会」
- 文芸の広場 中山社 北野句会
- 宮代の人物シリーズ
- 編集後記

「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」も誕生し、二年がたとうとしています。第63回の文化祭の折には、南宮宝物殿を参観していただき、ありがとうございました。さて、宮代の南宮神社は、51年目ごとに遷宮を実施しており、関ヶ原合戦で焼失していた南宮神社も慶長15年(1611年)が遷宮の年にあっていました。そこで、徳川家康にお願いして、遷宮の実施許可をいただくことになりました。家康は「どうする?!」と考えたそうです。関ヶ原合戦戦勝祈願の功、大なる神社だったこととか、桃配山に本陣を置けとの助言を得たとか、いろいろ勘案の結果、遷宮の許可を出し、仮殿(本殿に仮わる宮殿)を建設し、1611年に遷宮を実施したと伝わっています。30年後の1642年に、現在の地に、孫の徳川家光

が、さらに立派な今の南宮神社を造営しました。そして、境内に南宮東照宮を造営し徳川家康を祀っています。徳川家康とのかかわりの深い宮代です。なお、仮殿の建物は、解体され、正行院さんや、大領神社などに利用されました。正行院さんには、仮殿の天井絵や鏡が今でも残され、南宮宝物殿には、大領神社に使われた仮殿の巨大な“蛙また”が展示されています。宮代の自然と歴史・文化を愛し、宮代のまちづくりに皆さんの参加を仰ぎ、進んで行きましょう。



行事予定



※各種教室などには別途チラシや案内書、又は記載されていないサークル活動や団体活動等があります。詳細はまちづくりセンターまで問い合わせ下さい。

	事業名	日時	曜日	場所	備考
1	水墨画教室	3日・17日 13:00~15:00	金	まちセン 大会議室	会員募集中
2	水彩を楽しむ会	4日・18日 9:00~12:00	土	まちセン 小会議室	
3	昔の遊び体験教室	7日 9:30~11:00	火	宮代小学校	1年生
4	音(おと)楽(らく)倶楽部	8日・22日 18:30~21:00 9日・23日 10:00~12:00	水 木	まちセン 大会議室	水曜日のみ会員募集中
5	絵手紙教室	12日・26日 13:00~15:00	日	まちセン 大会議室	会員募集中
6	土曜授業「雅楽教室」	18日 9:30~11:05	土	宮代小学校	6年生
7	土曜授業「巣箱作り」	18日 9:30~11:05	土	宮代小学校	5年生
8	防災会設立総会	26日 9:00~12:00	日	まちセン 大会議室	

“2022” 重大ニュース 7月~12月

国内ニュース

海外ニュース

スポーツ

7月 安倍元首相銃撃され死亡
五輪組織委元理事を強制捜査
鹿児島桜島で爆発的噴火

英ジョンソン首相辞意表明
英で初の40度越え

羽生結弦引退プロ転向
平幕逸ノ城幕内初優勝

8月 第二次岸田改造内閣発足
名古屋高速道路でバス横転炎上
稲森京セラ創業者逝去

米下院ペロシ議長台湾訪問
ウクライナ侵攻半年に
ゴルバチョフ元ソ連大統領逝去

高校野球仙台育英東北勢初V
大リーグ大谷2桁勝利2桁本塁打

9月 西九州新幹線開業
安倍元首相の国葬
通園バスで3歳女児死亡

英エリザベス女王国葬

プロ野球セリーグヤクルト連覇
玉鷲最年長で幕内優勝

10月 岸田首相旧統一教会の調査指示
山際経済再生大臣更迭
一ドル150円突破32年ぶり

中国習近平3期目権威確立
トラス英首相辞任し
スナク氏首相に

オリックス26年ぶり日本一
ヤクルト村上最年少三冠王
ヤンキースジャッジ62号本塁打

11月 日中両首脳初の対面会談
葉梨法務大臣、寺田総務大臣
更迭

米中首脳初の対面会談
米中間選挙で下院を
共和党奪還
元中国国家主席江沢民逝去

米大リーグ アストロズが制覇
W杯サッカー日本ドイツに
歴史的勝利

12月 救済新法が成立
悪質寄付勧誘に刑事罰
反撃能力保有に三文書改定
秋葉復興大臣更迭

ウクライナゼレンスキー
大統領訪米
中国のゼロコロナ対策変更で
コロナ感染者急増

W杯サッカーアルゼンチン
3度目V
フィギュアスケート宇野昌磨
3年ぶりV

活動報告



12/18~1/20



12月22日音(おと)楽(らく)倶楽部のクリスマス会が開催され、一年の練習成果を発表しました。



12月25日 自治会長特別会議が開催され、宮代地区防災会設立の概要が説明されました。



12月26日健康マージャン教室が開催され皆さん頭をフル活用して競技されていました。



1月6日 子ども会育成会の役員会が開催され、令和5年度の役員が選出されました。



1月11日 書道教室「玉筆会」が開催され先生のお手本で何度も練習されていました。



1月12日 ヨガサークルが開催され先生のご指導で気持ち良く身体を動かされていました。



青少年の健全育成を語る会(12/18) テーマ ; 「～暖かい言葉を誰かに伝えよう～」

「語る会」は青少年が心身ともに健やかに成長し、豊かな人間性・自立性を身につけ、未来を創っていく力を育むことを目的に開催しています。コロナ禍で、昨年に続き参加者を限定し、十分な対策をして実施しました。

意見発表 宮代小学校 1名
不破中学校 1名
不破高校生 1名



題名

学年のわくを超えて

つながる言葉

相手を思いやる気持ち、感謝の気持ち、いろいろな気持ちを、あたたかい言葉で伝え合うことで宮代小学校全校の心がつながり、仲良しいっぱいの学校であり続けるようにしていきたい。

あいさつで心をぼかぼかに

私は毎朝出会う人に挨拶をすることを大切にしています。挨拶は、人と人をつなぐものでもあると思います。挨拶で地域の人に嬉しい気持ちになってもらえるよう挨拶を続けていきたい。

暖かい言葉を誰かに伝えよう

私達が普段発している言葉は相手によって違う捉え方をしている場合があります。相手を傷つけ、悲しい思いをさせていたり、一言で救われる人もいます。私達に出来ることは自分の言葉に責任を持つことです。

*晩鐘を 遠くに聴きて 焚火果つ

川瀬 慶泉

*木の葉散る 屋敷を囲む 小柴垣

久保田 絃義

*どんぐりは 地面を滑り 柵に出る

川嶋 結映

*山茶花の 垣根たどりて 僧の庵

傍島 法苑



宮代の人物シリーズ

「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」 藤塚 久勝

その二 不破 惟益 (ふわ これます)

不破惟益は、寛永3年(1626年)南宮神社の代官大夫職不破行光の子として宮代の不破家に生まれた。幼名をを亀蔵丸といい、後に行治とか、修理、民部などと称した。

寛永9年(1632年)6歳の時、父がなくなり、家のあとを継いだ。

そして16歳のとき、南宮神社の再建の遷宮祭で代表神職として奉仕している。

明暦元年(1655年)頃には、岩手の旗本竹中家との関係により、林羅山に師事し、羅山の尽力によって、四代将軍徳川家綱に国書を講じて時服を下賜されている。

また、寛文6年(1666年)には、吉田神道から出て吉川神道を唱えた吉川惟足に

師事し、会津藩主 保科正之、弘前藩主 津軽信政とならんで

惟足の高弟となり、いわゆる「不破神道」を大成した。

寛文8年(1668年)には、その才能を認められて惟足から「惟」の字をもらい「惟益」と称している。

大領神社の西に大塚と呼ばれる古墳があり、その上に小さな神を祀るやしろが立っている。このほこらがが垂井町の史跡になっている。「不破惟足大人の墓」(ふわこれますうしのはか)である。

(参考文献) 新修垂井町史・ふるさと宮代ものがたり



<編集後記> ★節分

節分とは「みんなが健康で幸せに暮らせるように」という願いを込めて邪気を払い無病息災を願う行事で、節分という言葉には「季節を分ける」という意味があるとされています。日本では春は一年の始まりと考え、特に大切にされ、あるときから、冬と春を分ける日だけを節分と呼ぶようになりました。ちなみに、節分には「煎った豆」をまきますが「魔の目を射る」という意味もあるそうです。

2月・3月(予定)の休館日

2月 7日(火)・14日(火)
21日(火)・28日(火)
3月 7日(火)・14日(火)
21日(火)・28日(火)

編集・発行

〒503-2124
不破郡垂井町宮代664番地4 宮代地区まちづくりセンター
TEL・FAX: 0584-22-1010



宮代地区まちづくり協議会 西川 一明

E-mail: miyashirokou@town.tarui.lg.jp



宮代の冬景色の特徴 雪の季節来近し

紙面充実へ皆さまのご意見をお寄せ下さい